



長岡技術科学大学 における海外留学について

【派遣学生との座談会を実施しています】

グローバル教育センターでは、海外実務訓練や海外研修をした学生から渡航に至るまでの手続きや、海外生活について不安に思っていることを直接聞ける場を提供しています。

年間スケジュールとイベント報告はこちらから⇒

〈お問い合わせ・申込先〉

グローバル教育センター gle-j@jcom.nagaokaut.ac.jp



No	制度名	対象学年	行き先	応募方法	制度の内容・派遣期間	派遣人数	担当事務窓口	留学にかかる費用負担	大学からの費用支援
1	海外英語研修プログラム 	学部2年生、3年生 (日本人学生)	オーストラリア	対象学生への実施の告知を行い、参加申請した者のなかから、語学センターにおいて研修意欲及び英語能力等を総合的に判断し、被推薦者を決定する。	本学の中長期成長戦略の一つである、国際通用性を兼ね備え、異文化理解の上で解決策を提案できる実践的グローバル技術者育成を目的とした、技術者として必要とされる英語力及び海外留学体験を得るため海外英語研修を実施する。 (派遣期間：2月中旬～3月中旬の1か月程度)	6名程度	学務課	往復渡航費 出入国における国内交通費 テキスト代 現地滞在費(交通費含む) 海外旅行保険等	7,900AUD(R6実施) (研修プログラム入学料、授業料、ホームステイ代、現地空港→カーティンまでの交通費)
2	メキシコ・モンテレイ大学 中期派遣プログラム 	学部2、3年生 (日本人学生)	メキシコ	1～3月の間に約5週間派遣予定。掲示・メールで募集告知を行い、希望者は参加申請書を提出。応募者多数の場合選考。 毎年7月頃説明会を行って募集。	現地での語学研修(英語、スペイン語)、文化体験および同年代のメキシコ学生との交流を通して、海外で/海外と仕事をするを見据え、実践的なグローバル視点を養い、異文化理解を深めることを目標としています。 (派遣期間：1月下旬～2月下旬の1か月程度)	10～15名程度	国際・高専連携戦略室	往復渡航費 海外保険 国内往路交通費(長岡→空港) + 現地滞在費	1,800ドル～2,100USドル(授業料、寮費)、 日本学生支援機構奨学金 12万円(月6万円)+ 渡航支援金16万程度※ (※成績要件・世帯所得条件等あり)
3	学部4年生科目 「実務訓練」 (海外実務訓練) (グローバル教育研究実習)	学部4年生 (本学修士課程進学予定者のみ)	アメリカ、イギリス、インド、インドネシア、オーストラリア、韓国、シンガポール、スペイン、タイ、台湾、ドイツ、フランス、ベトナム、マレーシア、メキシコ等	学部の卒業要件を満たした本学修士課程進学予定者全員にチャンスあり。毎年4月～5月に「全体説明会」及び「課程別説明会」を行って募集。	就業体験等を目的とする通常のインターンシップとは異なり、実践的高度技術者育成の重要な教育プログラムの一つとして実施しています。海外の企業、研究所などにおいて4ヶ月～半年程度の長期にわたり実習を行う、大学院進学後にその経験を踏まえたグローバル力を養成します。 (派遣期間：令和6年度は10月～2月の約5か月間)	R6は46名を派遣した。	学務課	往復渡航費 現地滞在費 海外旅行保険	日本学生支援機構奨学金※ (※成績要件・世帯所得条件等あり)
4	修士課程科目 「海外研究開発実践(リサーチ・インターンシップ)」 	修士	国、地域限定なし	指導教員と派遣先及び研究計画を相談の上決定し、「修士海外研究開発実践科目履修願」を学務課に提出する。 派遣の決定は、各専攻及び教務委員会の審議により行う。	将来グローバルに活躍できるイノベティブな人材の育成を目指すために修士課程において、3カ月(以上)の期間、海外の大学・研究機関・企業(研究所)等で修士研究テーマに関連したリサーチ・インターンシップを行います。また、本リサーチ・インターンシップに行くことにより、各学期の修士海外研究開発実践科目を履修します。 (派遣期間:10月～12月、1月～3月、5月～8月)	経費支援として10名程度を想定し予算を確保。	学務課	現地滞在費	上限1人70万円まで (※応募条件あり) <内訳> 往復渡航費 国内外交通費 現地滞在費等
5	5年一貫制 博士課程科目 「海外リサーチ・インターンシップ」	5年一貫制 博士	国、地域限定なし	指導教員と派遣先及び研究計画をよく相談の上決定する。	大学や企業などの外国の機関で少なくとも4週間はインターンシップを行います。	制限なし	学務課		
6	アドバンストコース (コース科目「海外インターンシップ」)	修士課程1年生 (又は2年生)	東南アジア、ヨーロッパ等(学術交流協定機関が中心)	アドバンストコースの修士課程学生のコース特別科目(選択必修:1単位)で、学部4年生の秋から、本人の希望、指導教員の意向等に基づき調整していき、派遣先、派遣時期等を決定する。	海外の大学、企業、研究機関において、自分の研究分野に関連した研究・開発・生産・運用あるいは教育の実務に従事します。 (派遣期間:概ね2週間～1ヶ月程度)	毎年5～10名程度	学務課		
7	世界展開力強化事業 (インド太平洋地域等)	学部4年生 (実務訓練等を対象) 修士及び5年一貫制 博士(リサーチ・インターンシップを 対象)	英国、インド	○実務訓練 No.1「実務訓練」参照。 ○リサーチ・インターンシップ No.2「海外リサーチ・インターンシップ」及びNo.3「海外研究開発実践」参照。 上記に派遣される学生に支援を行う。	○実務訓練 No.1「実務訓練」参照。 ○リサーチ・インターンシップ No.2「海外リサーチ・インターンシップ」及びNo.3「海外研究開発実践」参照。	学部生、大学院生 5～7名程度	国際・高専連携戦略室	現地滞在費	往復渡航費 日本学生支援機構奨学金への推薦(月8万円) (※実務訓練を除く)

上記海外留学に関する問合せ先：学務課、大学戦略課国際・高専連携戦略室

令和7年4月